

## ▶ 金融機関での振込によるご寄附

## ・本学基金口座に直接振込

金融機関の窓口、ATM、インターネットバンキング等から、下記指定口座に直接お振込みください。

(振込手数料のご負担をお願いいたします。)

なお、お振込みの前に「東京海洋大学基金寄附申込書」（本学基金HPを参照）をご記入の上、E-Mail、FAXまたは郵送にて基金渉外課にお送り願います。

金融機関	口座名義	口座番号
みずほ銀行（品川支店）	国立大学法人東京海洋大学	普通預金 1563648
ゆうちょ銀行	東京海洋大学基金	00150-1-566724



金融機関振込

## ・本学指定の払取扱票を使用した振込

本学指定の「払取扱票」に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行又は郵便局でお振込みください。

(振込手数料は無料です)

払取扱票をご希望の方は、必要書類をお送りいたしますので、基金渉外課までお問い合わせください。



オンライン決済

## ▶ オンライン決済によるご寄附

## &lt;クレジットカード決済 コンビニ決済 Pay-easy決済&gt;

本学基金HPからお申込みください。（振込手数料は無料です）

※お申込みいただいた寄附金の領収日は、申込日ではなく、決済代行会社から本学に寄附金が入金された日となりますのでご注意ください。

## ▶ 現物や遺贈制度によるご寄附

有価証券等の現物や遺贈制度による寄附もお受けさせていただきます。事前に、基金渉外課にご相談ください。

※ 基金の管理運営の円滑化等のために、管理費として寄附金受入額の10%を充てさせていただきます。

## 税制上の優遇措置

東京海洋大学へのご寄附には税制上の優遇措置が適用されます。後日お送りする寄附金領収書、控除証明書を確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出ください。

## ■個人の場合

<所得控除> 寄附した年の総所得金額等の合計額から控除を受けることができます。

<税額控除> 「修学支援事業基金」「研究等支援基金」へのご寄附の場合のみが対象となります。

※所得控除又は税額控除のいずれか一方の有利な制度を選択していただけます。

## ◇住民税

寄附をした翌年1月1日時点で東京都、港区にお住まいの方は、寄附の翌年の個人住民税の寄附金税額控除を受けることができます。

## ■法人の場合

寄附金の全額を損金算入することができます。

税制上の優遇について  
詳しくはこちらへ →

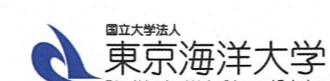


## お問い合わせ先

国立大学法人東京海洋大学 基金渉外課

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 TEL : 03-5463-4279

E-mail : ef-kikin@o.kaiyodai.ac.jp FAX : 03-5463-0359



東京海洋大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



## 東京海洋大学基金

## ご寄附のお願い

## 学長挨拶 ~海洋、その先の未来へ~

皆様には、日頃より東京海洋大学へご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京海洋大学は、平成23年に「東京海洋大学基金」を設置し、皆様からいただいた貴重な寄附金を、優秀な学生への修学支援をはじめ、課外活動や学生ボランティアへの支援に活用させていただいております。

また、平成28年の税制改正に伴い、「修学支援事業基金」を創設し、優秀な学生が経済的理由で修学を断念することがないよう、給付型の奨学金として支給させていただいております。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度と令和4年度においては、学生の修学支援として、経済的に修学困難な学生の奨学金給付、新規に渡日する私費外国人留学生の受入支援、保護者の家計の急変やアルバイトの収入減少により、生活支援が必要となった学生や、遠隔授業への対応費用等のため貸与支援を行うことができました。

一方で、昨年からの不安定な世界情勢によって、エネルギーや食糧価格が高騰し、生活の困窮度が増している状況では、この基金事業を継続・発展させていくことは必要不可欠であると考えております。

日本で唯一の海洋系大学として、未来を担う学生の多様な活動を支援するために、今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



井岡俊夫

国立大学法人東京海洋大学長

新設

## 【本学練習船による海洋人材育成支援事業基金】

本学練習船により実施している「船舶職員養成、海洋開発人材育成、船舶運航技術の教育・研究、海洋環境観測・教育等」に係る練習船の教育研究環境を維持・確保するための事業として「本学練習船による海洋人材育成支援事業基金」を設置いたしました。

## 【用途】

- 練習船を用いて行う、実習航海、乗船実習及び大学事業として行う調査研究航海等による航海計画を達成するために必要な燃料費等の運航経費を助成するもの。
- 練習船として行う、教育研究等を全うするために必要な学生や研究者の安全確保のための整備や入渠工事（ドック工事等）に係る費用を助成するもの。



東京海洋大学基金HP

東京海洋大学HP

## A.一般基金

目的指定をせず、大学全体のために活用します

## B.プロジェクト基金

プロジェクトごとに、  
寄附金の使途を指定して募集します

# 寄附メニュー



寄附メニュー



### 1. 大学プロジェクト

キャンパス再開発など、大学ビッグプロジェクトとして大学全体で推進していく事業に活用します。



### 5. 課外活動等プロジェクト

学生が運営する大学公認の課外活動を支援します。

## 6. その他



### ① 明治丸海事ミュージアム事業

重要文化財「明治丸」を含む明治丸海事ミュージアムの事業を支援します。



### ③ 附属図書館整備充実

本学の学術情報基盤である附属図書館の整備充実を支援します。



### ④ 海洋生命科学部及び 海洋資源環境学部 学術研究奨励基金

品川キャンパス両学部における国際交流等に活用する基金の充実を支援します。



### ⑥ 水圏科学フィールド教育 研究センター保全支援基金

学生の実習場である水圏科学フィールド教育研究センターの各ステーションの保全等を支援します。



### ⑦ 海洋工学部国際交流基金

海洋工学部における国際交流等に活用する基金の充実を支援します。



### ⑤ 卓越大学院 プログラム教育基金

大学院の5年一貫教育プログラム「海洋産業AI プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」を支援します。



### ⑧ 本学練習船による 海洋人材育成支援事業基金

本学練習船を利用した海洋人材育成に関する教育・研究環境の維持、充実を支援します。

新設



### ① 修学支援プロジェクト（修学支援事業基金）

経済的理由で修学を断念することのないよう学生への積極的な支援を行います。  
また、学業を継続することが困難となった学生への緊急支援を行います。



### 4. 学部・研究科等プロジェクト

特定の学部又は研究科や組織を支援していく事業に活用します。

- ① 海洋生命科学部 ② 海洋工学部
- ③ 海洋資源環境学部 ④ 海洋科学技術研究科

### 3. グローバル教育支援プロジェクト

グローバル人材の育成に資する取組みや外国人留学生支援等を通じた大学のグローバル化に活用します。